第６章　環境配慮

６－１　環境影響評価（EIA：Environmental Impact Assessment）の位置づけ

ブルキナ・ファソにおいて、EIA を担当してる環境・水省環境保全局長を訪問したが、EIA が制度化されているかどうかについては確認できなかった。しかしながら、個別の計画を実施する際には、周辺住民への影響を評価するために EIA、あるいはそれに代わる簡単な調査が必要になるかもしれないとのことであった。

６－２　環境配慮事項

本格調査の実施における環境配慮事項については、開発調査に関する事業団の環境配慮ガイドラインのスコーピング用マトリックスに準じて、次頁のとおり検討した。

主な留意事項は以下のとおりである。

①社会環境への配慮

社会環境としては、住民移転や遊牧民の定着耕作促進が行われる場合、十分な配慮及び悪影響の緩和措置が必要である。

②自然環境への配慮

自然環境について、森林資源の利用や植林が森林生態系及び生物多様性に及ぼす影響を考慮した対策が必要である。貴重種・固有動物については、事前調査では確認できなかったが、過去に周辺地域等の動植物等について調査したデータが存在するので、本格調査時において確認し、貴重種等に留意した計画を作成することが必要である。

ブルキナ・ファソ国コモエ県森林管理計画
スコーピング用環境影響チェック

◎悪影響がある
○若干悪影響がある
△悪影響がある場合もある
+好影響がある
無印　関係がない

環境項目	評定 開発行為									備考
（大項目）（中項目）（小項目）	林産物利用	収入創設活動	植林	定着耕作	アグロフォレストリー	野火対策活動	環境教育	改良カマドの普及	住民移転	
I. 社会環境										
1 社会生活										
(1) 住民生活										
1 計画的な移住				+					+	保存林区内は居住禁止（ディダ保存林区）
2 非自発的な移住				△					○	
3 生活様式の変化	+	+		△			+		○	
4 住民間の軋轢	△			△					△	移転する住民と受入側の住民
5 先住民・少数民族・遊牧民族	△			+			+		△	
6 交通量の増加										
7 その他										
(2) 人口問題										
1 人口増加				△					△	
2 人口構造の急激な変化									△	
3 その他										
(3) 住民の経済活動										
1 経済活動の基盤移転	+	△		△	+				△	
2 経済活動の転換・失業	+	+		△	+				△	
3 所得格差の拡大		△		△						
4 その他										
(4) 制度・慣習										
1 森林利用権の再調整	△		△				+			現状は保存林区の利用は禁止されている
2 漁業権の再調整										
3 組織化等の社会構造の変化									△	
4 既存制度・習慣の改革				△			+		△	
5 その他										
2 保健・衛生										
1 農薬使用量の増加										
2 水産医薬品等の使用量の増加										
3 風土病の発生										調査地は伝染病、風土病が多い
4 伝染性疾病の伝播										
5 貝類の毒化										
6 残留毒性（農薬・医薬品）の蓄積										
7 廃棄物・排泄物の増加				△					△	
8 その他										
3 史跡・文化遺産・景観等										
1 史跡・文化遺産の損傷と破壊										
2 貴重な景観の喪失	△					+				
3 埋蔵資源への影響										
4 その他										
II. 自然環境										
4 貴重な生物・生態系地域										
1 植生変化	○		△	+	+	+	+	+		
2 貴重種・固有動植物への影響	△		△			+	+			貴重種・固有種の確認が必要
3 生物の多様性の低下	○		△			+	+			
4 有害生物の進入・繁殖			△							
5 湿地・泥炭地・マングローブの消滅										
6 藻場の消滅										
7 天然林の劣化	○		+		+	+	+	+		天然林の持続的な利用

ブルキナ・ファソ国コモエ県森林管理計画
スコーピング用環境影響チェック

◎悪影響がある　+好影響がある
○若干悪影響がある　無印　関係がない
△悪影響がある場合もある

環境項目	評定									備考
	開発行為									
(大項目) (中項目) (小項目)	林産物利用	収入創設活動	植林	定着耕作	アグロフォレストリー	野火対策活動	環境教育	改良カマドの普及	住民移転	
8 さんご礁の破壊										
9 その他										
5 土壌・土地										
(1) 土壌										
1 土壌浸食	△		+		+	+				
2 土壌塩類化										
3 土壌酸性化										
4 土壌肥沃度の低下	△		+	+	+					
5 土壌汚染										
6 その他										
(2) 土地										
1 土地の荒廃（砂漠化を含む）	△		+	+	+	+				
2 崩壊地の発生	△		+							
3 防風・防砂・防潮・防火等の機能低下	△		+		+	+				
4 地盤沈下										
5 その他										
6 水文・水質等										
(1) 水文										
1 表流水の流況変化										
2 地下水の流況・水位変化										
3 渇水・洪水の発生										
4 土砂の堆積										
5 河床の低下										
6 流況への影響										
7 波浪への影響										
8 漂砂への影響										
9 舟運への影響										
10 その他										
(2) 水質・水温										
1 水質の汚染・低下										
2 底質汚染										
3 富栄養化										
4 塩水の進入										
5 水温の変化										
6 その他										
(3) 大気										
1 大気汚染						+		+		
2 二酸化炭素発生			+			+		+		
3 微気候変化			+			+				
4 悪臭						+				
5 騒音・振動										
6 その他							−			
7 森林の資源、機能の低下										
1 森林資源としての持続性の断絶	△		+		+	+	+	+		
2 漁業資源の持続性の断絶										
2 観光資源の持続性の断絶										